

発行日 平成 25年 10月 第68号

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
 でございます。

今年度は、看取りをテーマに「地域医療連携セミナー」を開催いたしました。大変関心が高く、院内外の多くの方々に参加していただきました。

今回は、セミナーの概要と参加者を対象にしたアンケート結果についてご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

地域医療連携セミナー開催

- 日時：平成25年10月4日(金) 18時30分～19時45分
- 場所：平鹿総合病院 講堂
- 目的：高齢者の終末期患者の一事例を通して、多職種間で、地域における看取りのあり方を検討する
- テーマ：「地域で看取りを支えるためには…」
- 内容：担当医・かかりつけ医・病棟看護師・ケアマネジャー・包括支援センター担当者による事例発表および質疑応答
- 参加者：114名
- 参加職種：医師・薬剤師・看護師・訪問看護師・保健師・ケアマネジャー・行政担当者等

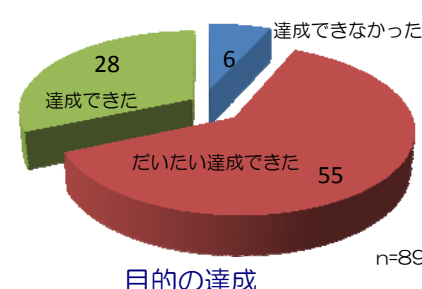
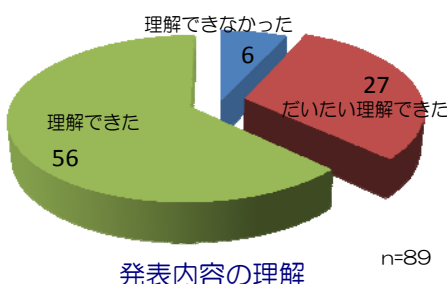
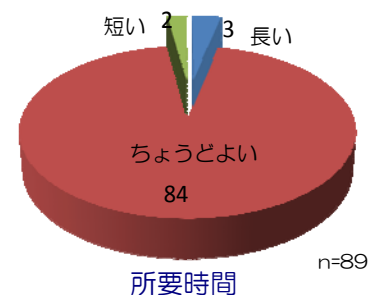
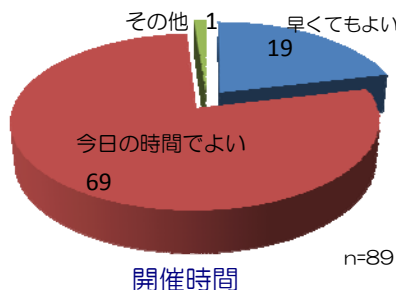
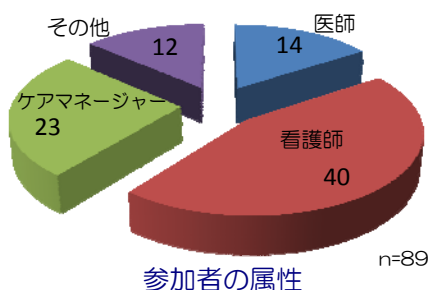


在宅や施設での看取りは、患者・家族の意思決定や家庭内の介護力・施設のマンパワーの問題、在宅医の考え方や診療体制、多職種との連携等、様々な課題があります。セミナーでは、オーディエンス・レスポンス・システムの活用により、参加者の終末期の治療や看取りに関する意見を共有しながら、事例検討を行うことができました。

今後も、一つひとつの課題について、地域の医療・保健・福祉機関とともに考え、患者さんの最善を優先した看取りのあり方を検討していきたいと思っております。

セミナーに関するアンケート調査

回収率 83%



ご意見・ご感想(一部抜粋)

- ・ 最期までその人らしい生き方を支えるケアを考えることは大切だと思った。
- ・ 開業している先生方に看取りの基盤をつくっていただきたい。
- ・ 家族への教育が必要だと思う。
- ・ 各施設の特徴を理解してほしい